



心ひとつに

校訓「心ひとつに 明日を拓く」
教育目標「気づき、考え、行動する生徒の育成」

美郷町立美郷中学校
令和7年2月21日
文責：校長
＊本校ホームページ→



3年生を激励する会



志定まれば、気盛んなり

「志定まれば、気盛んなり」は、幕末に活躍した吉田松陰の言葉です。「志」とは、心に決めた目標に向けて進もうとする気持ちで、「決心」とも言えます。

目標への気持ちが志として明確になれば、自ずとやる気や意欲が高まることを意味しています。

20日に生徒会主催で夢の扉を切り拓こうと全力で立ち向かっている3年生を激励する会が開かれました。3年生の3年間の振り返るスライドショーや、転出者を含めた学年部職員からのビデオメッセージ、1・2年生からのプレゼントの贈呈と応援エール、くす玉……などの思いやりに満ちた内容が満載で、大いに盛り上がりました。さらに3年生からも1・2年生を激励するエールでお返りするなど、心温まる交流が繰り広げられました。

13日には、公立高等学校の志願倍率が確定しています。公立高校の入試まで2週間を切りました。下級生の激励が追い風となったことと思います。既に受験を終え、進路を決めた生徒を含め、一人一人が定めた志に向かう気持ちを高め、一層力強く歩みを進めてくれるに違いありません。1・2年生も3年生を応援する活動を通して、進級への意識が高まったはずです。それぞれの学年で新たな道が拓けてきています。

今日の成果は過去の努力の結果であり



未来はこれからの努力で決まる!

稲盛和夫 (元京セラ社長・実業家)

19日は、今年度を締めくくる1・2年生の後期期末テストと3年生最後の実力テストでした。テストは、過去の努力の成果を確認するためのものです。そして、今回のテスト結果を吟味し、自らの取組を省みて必要に応じて改善しながら実践を継続していくことが未来を大きく左右します。稲盛氏は、「**努力を積み重ねれば平凡は非凡に変わる。**」とも語っています。1秒の積み重ねが1日となり、その1日の積み重ねが1週間、1か月、1年となり、気が付いたら手が届かないだろうと考えていた山頂に立っていたということにつながります。中国のことわざ「**人に魚を与えると1日で食べてしまうが、人に『魚の獲り方』を教えれば生涯食べていく事が出来る。**」とあります。学ぶことや努力することは、生き方にも関わる大切なものであることが分かります。



◆◆生徒の活躍◆◆

◇美郷町スポーツ賞

【栄光賞】(相撲) ○○○○ ○○○○ ○○○○ ○○○○ ○○○○ ○○○○

【奨励賞】(陸上競技) ○○○○ ○○○○

◇第20回仙北市民スキー大会

大回転中学生女子の部 第3位 ○○○○

◇東北電力杯Jr.ユースフットサル大会

優勝 神岡FC (B) ○○○○ ○○○○

最優秀選手賞 ○○○○ 優秀選手賞 ○○○○